

## 「みずかがみ」の出穂期早まる

本県で育成された水稻新品種「みずかがみ」について、甲賀管内では 33 名、約 23ha(約 100 筆)で栽培されています。このほとんどが、JA を集荷業者とする取り組みです。

甲賀管内での農業振興への取り組みは、日頃から関係機関・団体との連携を重視しており、「みずかがみ」の推進についても甲賀地域農業センター生産振興部会水田営農班での活動と位置づけ、JA(本所、各地域)、市役所、NOSAI、当課で協働し、各地域(6 か所)に設けた「みずかがみ」展示ほを運営しています。

7 月 22 日、4 回目となる生育調査を行なったところ、5 月第 1 半旬植えで出穂期が 7 月 16~20 日、信楽の 5 月 14 日植えでも 7 月 23 日と確認しました。同時期に移植された「コシヒカリ」では出穂が確認できず、「みずかがみ」が 7 日前後早いという状況でした。甲賀管内でも早生品種は 5 月 10 日以降の移植を基本としていることから、出穂期の差をさらに大きく感じる農家もあります。

今後、最良の品質を確保するため、カメムシ防除を「みずかがみ」については、早生品種より早めて防除するよう指導しています。また、33 日で登熟するとすれば、8 月 18 日には収穫が始まることとなり、関係者一同、刈り遅れ防止に向けた意識を再確認しました。今後も関係機関・団体による指導を継続することで、近江米の振興に努めたいと考えております。



関係機関・団体とともにを行う生育調査で品種特性を把握